

第4版へのまえがき

本書の「コンピュータリテラシ—情報処理入門—」というタイトルから、多くの方は、世の中に数多く出版されているパソコンやアプリケーションの操作をマスターするための本の1つだと思われるかもしれませんが、それは違います。本書は、「情報リテラシ」への橋渡しとなることを目的とした「コンピュータリテラシ」の本です。すなわち、パソコンやアプリケーションの操作ができる能力である「コンピュータリテラシ」の修得だけでなく、ある目的のために情報を積極的に活用できる能力である「情報リテラシ」の修得を目指した本です。

「情報リテラシ」の能力には、問題の発見、情報の収集・分析、論理的な考察、解決策の提案、説得力のある発表、わかりやすいレポートの作成などを行う能力が含まれます。このような能力こそが実社会では求められています。もちろん、このような能力は一朝一夕には身につけません。しかし、日頃から「情報リテラシ」を意識しながら経験を積んでいくことにより、自然とその能力は向上していきます。現代社会においては、情報リテラシの能力を発揮するうえでコンピュータやネットワークは大変役に立つ道具であり、そういう意味で、コンピュータリテラシの能力を磨いていくことが大切です。

本書では第9章で、ある具体的なテーマに関して「情報リテラシ」の基礎体験をしてもらうようにしました。そこでは第1章から第8章までで学習したいろいろなスキルを駆使しながら、問題を発見し、情報を収集し、分析し、考察し、最後にレポートとしてまとめるというプロセスを体験します。このプロセスを追うことにより、情報リテラシの雰囲気味わっていただきます。そこで本書では、まず第9章をざっと読まれることを推奨します。そうすれば、みなさんに最初に問題意識を持ってもらうことができ、必要となるスキルは何かを具体的に理解してもらえるからです。そのうえで、第1章から順に読み進んでいけば、学ぶべき目的がわかっているのにより学習効果が高まると思われます。このような目的指向型のコンピュータリテラシの書物は、案外少ないのではないのでしょうか。目的指向型の「情報リテラシにつながるコンピュータリテラシ」の本、これが本書の第一の特徴です。

第二の特徴として、テーマの統一があげられます。本書を通して「コンビニエンスストア」をテーマとして説明しました。これにより、わたしたちの身近なテーマで話が進むので、物語を読むような感覚で本書を楽しく読み進めることができるのではないかと考えました。また、「コラム」には、関連する面白い話や役に立つ情報をたくさん掲載しました。コラムだけを読み進めていくのも楽しいでしょう。さらにビジュアル化にも心がけ、文章と図表をバランスよく配置し、理解しやすくなるよう配慮しました。みなさんが楽しみながら本書を読み終えたときには、必要な「コンピュータリテラシ」の能力が自然と備わっていることでしょう。

今回、第3版の出版から4年が経過したので、最新のパソコン環境に対応すべく、改訂することにしました。改訂にあたっては、OSはWindows 10、アプリケーションはOffice 2016を意識いたしました。初学者にとっては、画面イメージが違ふと操作にとまどってしまうことが多いからです。しかし、本質的な内容部分に変更しておりません。それは、情報環境が変化しても「コンピュータリテラシ」のベースの部分は変化しないからです。したがって、どういうパソコンの環境であっても、また、パソコン環境が目まぐるしく変わっても、本書が「情報リテラシ」を目指した「コンピュータリテラシ」の教科書として役に立つものと自負しております。

なお、本書を教科書として使っていただく先生方には、共立出版を通して、授業を進めるための教材（授業用スライド、配布資料など）を頒布する仕組みを用意しています。詳しくは共立出版宛お問合せのうえご利用いただき、本書と併せてご批判・ご助言賜れば幸いです。

最後になりましたが、本書の企画と製作にご苦勞をおかけした共立出版の石井徹也さんと中川暢子さんに衷心より感謝申し上げます。また、題材としてのWebページの掲載や統計データの引用を許可いただいた社団法人日本フランチャイズチェーン協会をはじめ、資料を提供していただいた方々にも記して感謝の意を表します。さらに、本書の内容について活発にご議論いただいた専修大学情報科学研究所の情報教育研究会メンバーである朝日弓未氏、伊東洋一氏、大原康博氏、新保好美氏、鈴木祥平氏、八木晃二氏に感謝いたします。そして、初版と第2版の執筆をしていただき、現在にいたるまで有益なコメントをいただいている専修大学名誉教授の魚田勝臣先生に深く感謝申し上げます。

2019年1月

著者を代表して

大曾根 匡

執筆分担

第1章	パソコン環境とWindows	(森本 祥一)
第2章	電子メール	(植竹 朋文)
第3章	インターネットを用いた情報検索	(植竹 朋文)
第4章	文書の作成	(関根 純)
第5章	表計算の基本	(渥美 幸雄)
第6章	表計算の応用	(渥美 幸雄)
第7章	プレゼンテーション	(大曾根 匡)
第8章	Webページの作成と公開	(植竹 朋文)
第9章	情報リテラシへの道	(大曾根 匡)